

会議の要旨（議事録）

会議の名称	第2回鳥栖市公立保育所のあり方検討委員会		
開催日時	令和5年10月23日 18時30分～	開催場所	鳥栖市役所1階 多目的ホール
出席者数	14人（委員） 4人（事務局） 計18人	傍聴人数	0人
議題	(1)第1回鳥栖市公立保育所のあり方検討委員会まとめ (2)公立保育所の役割について (3)その他		
配布資料	資料0_表紙 資料1_鳥栖市公立保育所のあり方検討委員会 資料（第2回） 資料2_鳥栖市の保育ニーズ等 参考_第7次鳥栖市総合計画 2021→2030 引用【地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会とり まとめ R3 厚生労働省】 【こども未来戦略方針 R5.6.13 こども家庭庁】 【第5次公立保育所・公立認定こども園等アクションプラン （全国保育協議会の議論）】		
所管課	（課名） こども育成課 （電話番号） 85 - 3552		

1. 第1回鳥栖市公立保育所のあり方検討委員会まとめ

事務局より次の資料に基づいて説明

・資料1(第2回)

1 第1回公立保育所のあり方検討委員会まとめ

委員：公立と私立の方向性を分けて考える必要があると記載されているが、公立と私立の保育の違いとは。

事務局：本日の委員会にて皆様と協議をし、検討していきたい。

2. 公立保育所の役割について

事務局より次の資料に基づいて説明

・資料1(第2回)

1 地域における保育所・保育士等の在り方(国の議論)

【引用元：地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会とりまとめ R3 厚労省】

【引用元：こども未来戦略方針 R5.6.13 こども家庭庁】

2 公立保育所と私立保育所の運営について

3 公立保育所・公立認定こども園等アクションプラン(全国保育協議会の議論)

【引用元：第5次公立保育所・公立認定こども園等アクションプラン R4 全国保育協議会】

4 鳥栖市のまちづくりの方向性

【引用元：第7次鳥栖市総合計画】

委員長：こどもに関する鳥栖市の特色や保育のニーズ等で事務局が把握している分はあるか。

事務局より次の資料に基づいて説明

・資料2(鳥栖市の保育ニーズ等)

委員：障害児保育事業対象者が増加している中で、それに対応する保育士は、専門的な部分の勉強、専門知識を高める取組はしているのか。

事務局：担当になれば研修を受けることにはなっているが、全体的な研修も計画をしている。しかし療育という分野になると保育と違うので、関係部署と連携をとり

ながらになる。知識は皆さん持っているが、こどもによって違うこと等を踏まえたうえで、保護者や関係機関と連携をとりながら行っている。

委員：先ほどの説明の中での公立保育所公立認定こども園アクションプランの項目については鳥栖市でも実践していく方向でお考えか。

事務局：アクションプランについては全国保育協議会で作成されており、協議会には公立保育所も含まれる。アクションプランには、協議会が行う部分、各園が行う部分と分担がされている。公立保育所についてもそれに基づいて、行動できるところはしていくべきと考える。

委員長：では公立園の立場としてはそれぞれどのようにお考えか。

委員（小鳩園長）：小鳩園職員会議の結果

- 民間の保育所を補っていく。
- インクルーシブ保育・教育の実現に向け療育施設と保育所の併設
- 市民ニーズに沿った保育事業の充実の取り組み。
- 一時預かり保育、全ての子育て家庭への支援の充実
 - ・行政との連携
 - ・行政組織の役割として値域のニーズを踏まえた保育
 - ・子育て支援の拠点となり、妊娠、出産、育児を通じて、すべての子育て家庭の様々な困難、悩みに対応
 - ・親の就労に関わらず、すべての子育て家庭を等しく支援。
 - ・潜在保育士に確保に向け、対象者への研修・実習
- 災害時の対応
 - ・拠点となり災害時・緊急時の公立保育施設での代替保育の実施・避難所との連携
- 障害児や乳幼児関連部署との連携強化や研修のためのスキルアップ
 - ・保健センター、ひかり園との連携
 - ・経過観察が必要な児童の入所受入れ、家庭訪問、各機関との連携
 - ・保育技術の継承

委員（白鳩園長）：白鳩園職員会議の結果

- 地域の保育基準としての役割
 - ・公立保育所における専門知識の継承及び、民間保育所及び認可外施設との

連携・交流

・保育所間の異動、横の連携による良い意味での保育の質の均一化、どの公立保育所でも同質の保育が受けられる

- 保育行政のアンテナとしての役割
 - ・保健センターやひかり園、小学校など、公的関係機関との連携が取れる。
- 行政組織の一部としての役割
 - ・自然災害が身近にも頻繁に起こっている。市内の保育園が閉園になった際エッセンシャルワーカーの方のこどもを預かる施設を開所してはどうか
- 民間を補う役割
 - ・インクルーシブ保育の実現
 - ・医療的ケア児・加配を必要とする障害児の受け入れ。
 - ・個々のアレルギー対応や多様なニーズを抱えた保護者・こどもの支援
 - ・そのほか市民ニーズを考えると、0.1.2歳児の受入れも積極的にならなくてはならないところだが、体制が整っていない。

委員（下野園長）：下野園職員会議の結果

公立保育所に求められているニーズは、年々多様化している。地域の保育所の基幹として国の方針やこどもの置かれている現状にアンテナを立て、鳥栖市民の保育ニーズに沿った保育事業の取り組みを公立保育所として担っていきたい。

- 地域のニーズ
 - ・こども・子育てに関する不安解消。
 - ・多世代・地域との交流。
- 保育のニーズ。
 - ・育成支援。
 - ・外国にルーツを持つこどもの保育。
 - ・食物アレルギーに対するノウハウ・スキルなど。
 - ・児童虐待やこどもの貧困など社会的問題への対応。
- 緊急時の公立保育所としての役割
 - ・自然災害発生時・感染症流行時に関係機関との連携

委員（鳥栖いづみ園長）：鳥栖いづみ園職員会議の結果

私立保育園等や関係機関との連携を図りながら、市全体の保育の実情や課題を把握し、市民のニーズ、医療的ケア児、障害児保育などを取り入れる。そのために研修ではなく資格の取得まで行う。

私立保育園などが受け入れ困難な子をセーフティネットとして受け入れをしていく。また、行政と連携して養育力の低下による保育困難な家庭への支援。以上のためには、より専門性を持った研修や資格、発達障害の療育に必要な資格など、が必要と考えられる。そういう中でも、職員のワークバランスも大事にする。

委員長：公立保育所4園より何点か共通のことが出された。

地域の保育指針としての役割様々なニーズに応えるような様々な関係機関との連携強化、災害時の避難場所としてなどの緊急時の対応が求められるなどがあげられた。

委員：対策として保育士の確保が重要になると考えられる。保育士の確保についてしていることはあるのか。

事務局：公立、私立に限らず、様々なニーズに応じてかつ、安全に、健全に保育をしていく必要があると思うので保育士の確保は、今後も引き続き必要になってくる。今後こどもが少なくなるとはいえ多種多様なニーズがあるので、そこに対応していくためには、保育士の人材育成を行い、様々な技能等が必要となってくると思うので、今後も保育士の確保に向けては、市、私立、公立、と連携しながら取り組んでいきたい。

委員：市によっては保育士が働きやすい市みたいな形で、その市で働くと保育所とメリットがあるようなことを出している市もあるので鳥栖市でもすでに働いている方もこれから働きたい方に保育士にも情報として、目に入りやすいような形を出してほしい。

事務局：市のほうも保育士の獲得に向けて、住宅の借り上げなど取り組みをまとめた「鳥栖市で働く保育士さん・看護師さん大募集！！ R4.6.1 鳥栖市こども育成課」（以下小冊子）があり、どのような園があるかまとめているものがある。ただ必要な情報がすべての方に回っているかというと、継続してやっつてる中でも、まだ御存じない方もいる。これからも引き続き、いろいろな場所に出向いて説明するような話はしているのでその中で、理解を深めていただきたいと考えている。

県の方が、佐賀県全体で、潜在保育士の再就職の場合に就職支援金で40万円の支援金を出しており、鳥栖市でも対応している。

そのほかに市の施策として、住宅費の補助があり、市内保育所で、採用後5年間は月額5万円補助の支援をしている。対応する園については市ホームページ

や小冊子のとおり。

委員：保育士さんの確保のところ、お仕事案内会を11月に、開催するという
ことで、毎月子育て支援コーディネーターより発行している子育て情報誌や、ホ
ムページでお知らせをしている。また、今、母親たちが結構、インスタグラム
とか、LINEをよく見られているとのことなのでそれらのSNSに載せて
おり、まだ仕事されていない方たち等に幅広く伝わるようにしたい。

委員長：11月11日に、佐賀県主催で九州龍谷短期大学が会場になって、お仕事フェア
が開催される。

事務局：鳥栖市でも市のブースを出す予定。

先ほど委員のほうから紹介がありましたようにフレスポのほうで、年2回、
鳥栖市保育会でお仕事案内会を開催されているので、そちらにも市として支援
をしている。メール等で求職受付をしたりしている。

事務局：委員の方から意見をいただいたため委員長と打合せをして、意見を集約した
ものを、御案内できればと考えている。

会議の場で思いつかなかった意見や質問などがあればこども育成課に別途連絡
してほしい。

また今後のスケジュール等については予定より遅れているため次回の日程に
ついては委員の皆様には別途連絡をする。

委員長：本日の公立保育所の役割についての意見としては

- ・医療的ケア児の保育。
- ・私立保育園、関係機関との連携を取る。
- ・災害時の公立保育所で受け入れる等があげられた。

会議の場以外でも意見の追加等あれば連絡が欲しい。

以上